

さらに良い商品作りに、もっと売れるために①

「まるごと高知」で テストマーケティング

東京・銀座の「まるごと高知」では、県産品の商品価値向上を目指して、開発商品、改良商品のテストマーケティングを行う場を提供しています。

テストマーケティングって何?

商品を試験的に販売すること。特定の場所で実験的に販売することで、消費者のニーズやバイヤーの意見などを知ることができます。

テストマーケティングの流れ

お申込み

申込書、商品の台帳、商品規格書など必要書類により、地産外商公社高知事務所まで応募してください。

店頭で、実験的販売

販売を通じたテストマーケティングのほか、試作段階の商品^(※1)も実施できます。現地販売員による対応^(※2)も可能になりました。

テストマーケティングの報告

テストマーケティングの結果を分かりやすくまとめてお返します。

テストマーケティングで得られること。

1 販売数、 購買層を報告

性別、おおまかな年齢を集計しご報告。好まれるターゲット層について知ることができます。^{(※1)については対象となりません}

2 消費者の 意見収集

試食、実演販売時に、アンケートを行い、消費者からの生の意見を頂けます。

3 バイヤーや 専門家の商品評価

「見た目、食味、機能性、価格、市場性」などの専門的視野より評価が頂けます。^{(※2)については対象となります}

お問い合わせ 一般財団法人高知県地産外商公社高知事務所 ☎780-8570 高知市丸ノ内1-2-20 3階
お申込み先 TEL.088-855-4330 FAX.088-823-9262 E-mail:test@marugotokochi.com

さらに良い商品作りに、もっと売れるために②

ブラッシュアップで、商品力アップ

高知県は、県産品の商品力の向上と販売拡大を促進する事業者を対象に、商品の磨きあげに関わる費用を補助しています。

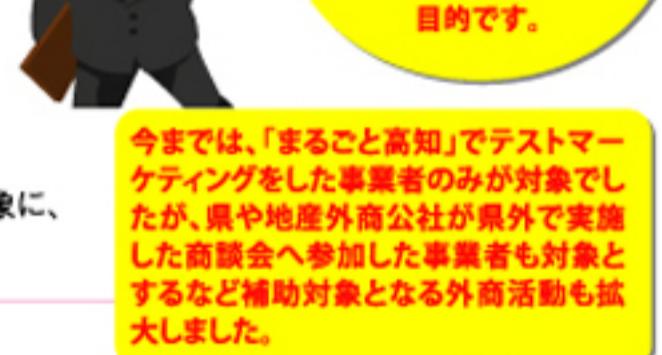
ブラッシュアップの例

- パッケージ改良
- 商品コンセプト作り
- 市場調査
- 試作品作成など

これらの磨きあげに要する経費に対して補助を行います。

(補助率:1/2以内 補助金額10~100万円)

商談会やテストマーケティングなどでご意見を頂いたら、それを参考に、商品の磨きあげをしましょう。バイヤーやコンサルタント、パッケージデザイナーなどの専門分野のプロを巻き込んで、売れる商品を作りましょう。



今まで、「まるごと高知」でテストマーケティングをした事業者のみが対象でしたが、県や地産外商公社が県外で実施した商談会へ参加した事業者も対象とするなど補助対象となる外商活動も拡大しました。

テストマーケティングから ブラッシュアップを実施して

株式会社岡林農園 のむ土佐文旦・ゆず・しょうがジュレ

テストマーケティング(以下TM)を実施した商品は、ウイダーインゼリー(写真参照)のようなパッケージ、美容に良いコラーゲン入りのものでした。パッケージは、小ロットの場合、このようなタイプの容器しかなく大きな口がネックとなっていました。

TMの結果、お客様から、様々な意見を頂きました。例えば、「子どもが熱を出した時に手軽に飲ませたい」、「苦みのある文旦や辛いしょうがだけでなく、子供にも飲ませやすい味を求める」などです。またバイヤーからは、店頭で売りやすい形状の助言を頂きました。

このような課題を一つ一つ改善していくために、ブラッシュアップ支援事業を活用し「飲むジュレ」という商品ができました。ブラッシュアップには、パッケージ業者、デザイナー、コンサルティング、バイヤー、消費者などと一緒に取り組み、マーケットインの視点から商品力アップへつなげました。

味に関しては、ゆずを仲間入り。一目で味をイメージできるように、例えば文旦なら「苦みの文旦」というコピーを入れました。こうすることで、文旦を知らずとも、なんとなく商品が分かるように工夫をしました。また、同じカップを購入し、種類ごとの紙サックを巻くことで経費削減にもつなげました。

この事業に参加して最も良かったことは、TMのみならず、ブラッシュアップのサポートが受けられたことです。小さな店こそ、マーケティングが重要だと思います。今後も、こういった事業を活用しながら、お客様に求められる商品づくりを心がけたいと思います。



Before



After



お問い合わせ 一般財団法人高知県地産外商公社 ☎780-8570 高知市丸ノ内1-2-20 3階
お申込み先 TEL.088-823-9753 FAX.088-823-9262 E-mail:120901@ken.pref.kochi.lg.jp